

因伯子供学園へのご寄付に感謝申し上げます。  
 平成31年3月～令和元年8月末まで、ご寄付頂いた方々は下記の通りです。  
 心より感謝し、ご報告申し上げます。 敬称略

### 寄付者

相見 楓子	フラット商会 岩崎 新作	吉祥院	国際ソロプチミスト 倉吉
岩本 美也子	石亀 政道	UFO倉吉店	伊藤 広徳
倉吉市更生保護女性会	岡本 岳大	いきいき夢くらぶ 石賀 政一	湯浅 英利
チロル	倉吉地区更生保護女性会	小谷 敏彦	岡崎 正治
九鬼 全弘	長谷川 ノブアキ	ガイア紙屋町店	

「平成」から「令和」へ移り施設長に就任して四ヶ月、日々慌ただしい毎日が過ぎていきます。八月一日現在で入所児童二十六名、一時保護児童二名が生活しています。今年の夏の暑さは特別ですが、皆元気に生活しています。八月六日海水浴、八月十一日そうめん流しと例年通り夏の行事も無事終了しました。さて、八雲夫妻により創立以来、百十三年を迎える因伯子供



### 新施設長挨拶

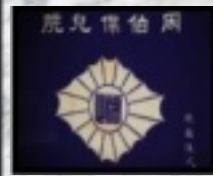
吉田裕治  
よしだ ゆうじ

元号が平成から令和に変わり初めての因伯だよりになります。今年も暑い夏でしたが、みなさんはいかがすごかったですか？  
 「因伯だより2019春夏号」をお届けします。昨年度末に前施設長の石亀政道が退任し、今年度より、吉田裕治が施設長に就任しました。

## 因伯だより

### 2019 観

児童養護施設  
 因伯子供学園  
 〒682-0854  
 鳥取県倉吉市  
 みどり町3249  
 TEL 0858-22-2639  
 FAX 0858-47-0234  
 ホームページ  
<http://www.inpakuodemo.jp/>



学園で約四十年に渡り児童指導員、理事・園長として学園を支えてこられた石亀前園長は六月に理事長に就任されています。その前園長と引き継ぎを行った際、財団法人因伯保児院（1912〜1950）時代の旗がありました。因伯だよりの表題下にある旗印です。旗の中心には文字らしき部分があるのですが、何と書いてあるのか、その時は判りませんでした。  
 先日、他の職員とその話題となり、いろいろと協議した結果、「仏心」ではないかということになりました。そういえば、私がその時思い出したのは、理事会で園長を拝命した際、内藤前理事長よりの「仏心をもって子ども達を養育してください」という励ましの言葉でした。改めて調べてみると「仏心」というのは、大慈悲これなり」という法語を見つけました。難しくてもうまく説明できませんが、「無縁の慈をもつて、もろもろの衆生を撰す」と説かれており、

ことには仏法に身を置く創立の心に近づけるよう、一人ひとりの思い、児童、職員、多くの関係者と共に因伯子供学園を育んでいきたいとおもいます。  
 私には仏法に身を置く大慈悲とは仏法のただ中に身を置いていけるところにはたらく慈悲と書いてありました。  
 今年度より因伯子供学園の本館で働かせていただきます。まず芦崎です。小さいころから子どもたちと関われる仕事がいとおもっています。進学した大学ではそれを叶えることが難しいと思いきや3年生の時に中退し、鳥取短期大学に入学し直して二年間保育について学びました。  
 短大で保育士の働く施設について学ぶ中、子どもたちと日々の生活を共にする児童養護施設に興味を持ちました。また、児童養護施設で実習を行った際、



### 新職員紹介

芦崎 衛  
あしざき まさもる

小学生から高校生までの子どもたちとたくさん話をし、「楽しいな」と心から感じました。そこで、地元である倉吉市の児童養護施設、因伯子供学園で働く事を決めました。  
 因伯子供学園での初日は、退所する児童の見送りに参加しました。施設の職員や子どもたちにも励ましの言葉や感謝の言葉を掛けられながら見送られる子どもたちも、「もう少し見てやりたいな。」と寂しさを漏らす職員の方々を見て、自分もこのように感情が芽生えるくらい仕事に取り組みたいと思いました。  
 子どもたちの試行行動に、どのように向き合えばよいか分からないこともありますが、本館チームの職員さんが、どんなことでも気軽に相談に乗ってくださるため、安心して仕事に取り組んでいます。  
 分からないことだらけの毎日ですが、先輩職員の姿を見ながら成長していきたいと思っております。よろしくお願いたします。



### 因伯の食事メニューの紹介

～9月21日の夕食～

- ・寿司盛り合わせ
- ・から揚げ
- ・シチュー
- ・プリン
- ・ジュース



ずいぶん豪華なメニューだなあと  
 思われましたか？この日はお誕生日メニューの日でした。誕生日には自分が希望した献立が出るんですよ！

楓・樺ホーム統括  
 勤続 19年目  
 趣味 マラソン  
 植物育て  
 D I Y



○統括リーダーとは  
 楓・樺ホームはユニット形式のホームです。その二つのホームを取りまとめているのが、統括リーダーです。  
 ○どんな仕事をしているのか？  
 基本的には、樺(男子)ホームの勤務に入りますが、楓ホームの補佐として、通常業務や宿直勤務にも入ります。また、両ホームの児童のケースを把握し、関係者会議に出席したり、保護者との関係調整役も担っています。子どもだけでなく、両ホームの職員のスーパーバイザーとしても大切な存在です。

### お仕事紹介

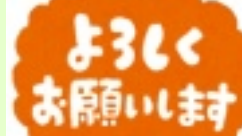
～楓・樺ホーム統括リーダー～



### 編集後記



最近我が家で熱帯魚を飼いだしました。元々は、この夏息子が夏まつりでゲットした金魚を飼っていたのですが、あれよあれよという間に、金魚ちゃん達が天国へと旅立ってしまった、せつなかだからと夫の提案で熱帯魚を飼ってみることにしました。あまり、いや全然、ペットを飼うということに興味のない私。「えー、熱帯魚？」と購入にも乗り気でなく。でもまあ、子ども達が喜ぶなら、と数匹購入して帰りました。当然大喜びの子ども達。娘は早速計13匹のお魚1匹ずつに名前付け。エサもせっせとやっているのを見て、私も何だか気になりに出して…。今では「エサあげた？」「水汚れてるんじゃない？」と、まんまとペット愛に目覚めてしまいました。今は、出勤前と帰宅時には必ず水槽を覗いては、「おい」と話かけています。どんな気持ちで泳いでいるんだろう？そんなことを考えながら見入っていると、自然と癒されています。忙しい毎日でも、こういうフツと心を休める時間は大切ですね。『休むではなく休める。』みんな頑張り過ぎですから。いろいろな方法で、自分を休めてあげましょう。  
 広報誌編集委員 小坂 阿季



令和元年度 因伯子供  
 学園 広報誌編集委員

- 林原 年彦
- 小坂 阿季
- 山崎 麻衣



# 因伯子供学園 令和元年度 ホーム・職員紹介

創立110周年記念事業小規模グループホーム



## 楓 (かえで) ホーム【女子】



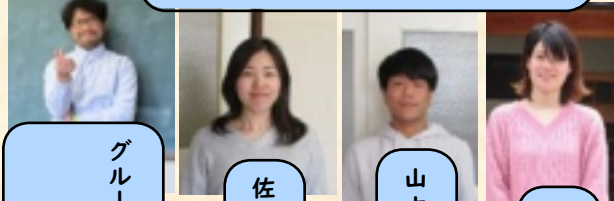
楓ホームチームリーダー  
小坂阿季

増田裕佳

京力美穂

岡空貴

## 欅 (けやき) ホーム【男子】



欅ホームチームリーダー  
岸田千佳

尾崎明日香

山本昇太

佐々木智美

グループホーム  
統括リーダー  
小坂宗司

## 梧 (あおざり) ホーム【男子】



創立100周年記念ホーム

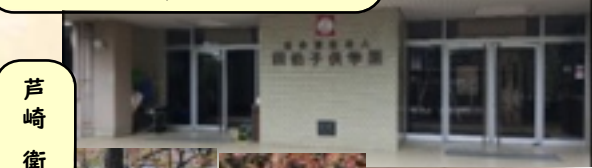
梧ホームチームリーダー  
増田由紀江

山崎麻衣

幸山翔平

濱川麻有

## 本館 (ほんかん)



芦崎衛

山根祐介

園長  
吉田裕治

副園長 兼  
家庭支援専門相談員  
齋江富子

事務  
山田峰子

森下宜子

本館ホームチームリーダー  
松井紀美子

河本倫子

事務  
池原敦子

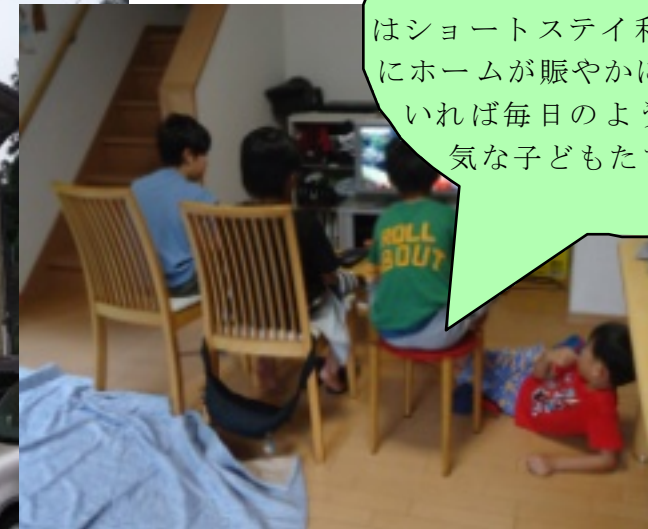
家庭支援  
専門相談員  
野田慎二

セラピスト  
玉城大

里親支援  
専門相談員  
林原年彦

# ホーム紹介 ~梧ホーム編~

梧ホームは、因伯子供学園で初めての小規模グループホームです★ 現在は小学生2人、中学生4人、計6人の男の子が、元気に生活しています。年頃の男の子が多い為、ケンカも絶えませんが、明るく元気な子供たちのおかげで、毎日笑いが絶えないホームです！



とある日の休日…。この日は雨で外に出られず、リビングで仲良くDVD鑑賞。土日にはショートステイ利用もあつたり、更にホームが賑やかになります。晴れていれば毎日のように外で遊ぶ、元気な子どもたちです★



←の写真は、夏休みの宿題で、中学生の子が作ってくれたハンバーグです！上手に出来たハンバーグを、ホームのみんなで美味しく食べました♥宿題じゃなくても、たま～に食事作りを手伝ってくれたりするので、職員は大助かりです！



最後に：  
梧ホーム長 増田由紀江  
今日中学三年男子の吹奏楽部最後の演奏会に行ってきました。今年四月、梧ホームへ移動となりました。関わるようになって半年。彼の頑張りを近くで見守り応援してきました。「部活休みたいな」とよく愚痴をこぼす彼。しかし、休むことはありませんでした。今日、彼の演奏、特にソロ演奏を聴きながら、今まで努力してきた姿が脳裏に浮かび、胸が熱くなりました。  
梧ホームの男子六人。まだまだ落ち着いた生活にはならないのが現状です。私自身も職員でありながらどうしていいかわからず、不安と辛さで落ち込む日も少なくありません。しかしこの頑張る姿や素敵な笑顔、優しい言葉です。それらは私が仕事に向かうためのエネルギーとなっています。  
私の元気の素となる子どもたちの素敵な姿を見逃がすことのないように意識し、子どもたちの力をもらい仕事をさせてもらっているという感謝の気持ちを忘れず、仕事に取り組みたいと思っています。  
今日の演奏会での彼の輝いた姿を力に、明日からまた頑張れます。感謝。  
梧ホーム長 増田由紀江